

京都府の WEB 情報発信が大変身！

新サイト「KYOTO SIDE」から全国の京都ファンへ情報を届けます ～専属フォトライターが「もうひとつの京都」の魅力取材し、発信します～

京都府は、1月31日（火）から、知られざる京都の魅力を、専属フォトライターにより、印象的な写真・「読み物」に昇華した地域情報記事を、グローバルに発信するファンコミュニティサイト「KYOTO SIDE」(www.kyotoside.jp/) をオープンしました。



《サイトコンセプト》

みなさんは、“京都”と聞くとどのようなイメージを持たれるでしょうか？

歴史ある神社仏閣、カランコロンと下駄の音が鳴り響く石畳の道、お座敷で優雅に舞う舞妓さん、何百年にも渡り継承される老舗や伝統工芸品など、日本人のみならず世界中の人々の KYOTO へのイメージは、同じものなのかもしれません。

しかしながら、京都にはまだまだ知られざる一面がたくさんあります。

紺碧の日本海に面した昔ながらの伊根の舟屋、かやぶきの家が立ち並ぶ自然豊かな美山かやぶきの里、一面に広がる緑の雄大な茶畑…日本人の心の原風景が、この京都府内にはたくさんあふれているのです。

そのような、知られざる「京都」の魅力を、京都を愛するみなさんのチカラでもっと広めていきたい。

「KYOTO SIDE」は、京都府が持つ独自の魅力や情報をグローバルに発信し、共有していくファンコミュニティサイトです。

サイトの顔ともいえるロゴは、和のモチーフであり、人と人を結びつけるという意味がある水引と「京」の文字を組み合わせ、サイトを見る方と京都を“結びつける”意味を込めています。

読み手である“あなた”が「読んで」「見て」「感じた」この地の魅力を、友だちや仲間にも結んでいってください。そして“あなた”が発信者となって、みんなで京都を盛り上げていきましょう。

《サイトイメージ》



《記事ラインナップ》

WEB上で、興味・関心が高い6つのジャンルに対し、専任のフォトライターによる記事を配信。サイトオープン時に2つの記事を配信します。

【キレイ・体験】 青い海、日本海の夕陽、緑のパノラマ・癒しの絶景温泉★厳選5



旅と温泉。これはまさにテッパン！

京都というと古都、古い町並みというイメージが強く、温泉の印象が薄いかもしれませんが、侮るなかれ！京都にも温泉はあるんですよ～！

しかも絶景温がっ！！

浸かるだけで癒されるのはもちろんですが、波音、夕陽、森林浴・・・とプラスαの癒し効果もあるんです。

古都+温泉を楽しむもよし、どっぷり温泉旅もよし京都の絶景温泉で癒されましょ～♪

【カワイイ・食べる】 宇治で見つけた冬のあったか抹茶スイーツ7選

京都での食べ歩きにハズせないキーワード、「抹茶」。

近年は海外でも「MATCHA」として親しまれ、今や日本を代表するフレーバーのひとつです。

お茶の生産地として全国的に知られる宇治は、街中に抹茶を冠したメニューがひしめくまさに“お抹茶天国”！今回はその中でも、きびし～い京都の冬をほっこりあたためてくれる抹茶を使ったホットスイーツをご紹介します。

老舗からニューウェーブまで、抹茶の魅力がたっぷり詰まった冬にウレシイ甘味を食べて宇治を満喫しちゃいましょう (^v^)



《サイト概要》

1 記事のクリエイティブを一新します。

SNS は利用料が無料であることから、ライティングが素人である職員による情報発信であることが多いですが、クリエイティブ力が高くないとユーザーとのエンゲージメント率(※1)が下がり、情報発信力が低下します。

今回、ユーザーとのエンゲージメント率を高めるためには、よりユーザー目線で、かつ、クリエイティブ力の高い記事が必要となるため、専属のライターによるファン目線の記事(情報)を発信します。

2 Facebook だけでない情報拡散の仕組みにチャレンジします。

Facebook のいいね!(シェア)は、強力な情報拡散の仕組みですが、新サイト「Kyotoside」(ホームページ)は、ソーシャルメディアでの拡散を意識し、掲載記事が、各種キュレーションサイトやニュースサイトでの掲載へと波及していくところを目標とします。

3 地域の魅力をダイレクトに発信します。

海の京都、森の京都、そして、来年は、お茶の京都と、もうひとつの京都エリアの情報発信を強化しているところです。地域情報の収集及び発信を強化するため、地域の魅力を集積したデータベース(ファクトブックシステム※2)を開発し、各種メディアの取材誘致の実現を目指すとともに、専属ライターを活用し、新サイト自らがメディアとして情報発信します。

4 最新のWEBマーケティングの理論を活用し、効果を分析します。

新サービスの成功のカギは、ファンとのエンゲージメント率の向上が握っていることから、Facebook ページの記事へのいいね!やシェアの動向、新サイトのPV数やユーザー動向をWEBマーケティングプロデューサーのマネジメントの元、分析し、ライティング方法や写真のコンセプト、タイミングなどを最適化します。

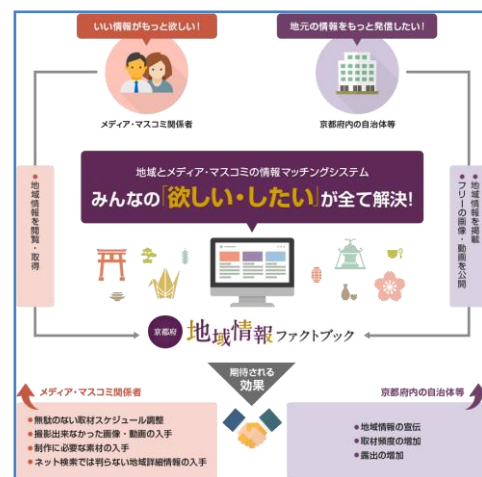
また、株式会社はてなの提供するオウンドメディアCMS「はてなブログ Media」(<http://hatenablog.com/guide/media>)を採用し、最新トレンドにあわせた機能アップデートへの対応や、安定的な運用に取り組みます。

■エンゲージメント率※1

エンゲージメント率は、Facebook などの SNS において、ユーザーが投稿に対して反応を示した割合など「繋がり」示す値です。エンゲージメントは企業やブランドなどに対してユーザーが愛着を持っている状態を意味し、いいね!やシェアなどから表示される Facebook ページのエンゲージメント率はマーケティングの指標のひとつです。エンゲージメント率が高ければファンは安定して支持していると判断する材料のひとつとなり逆に、閲覧数が多くてもエンゲージメント率が低い場合は、いいね!を押しているファンのタイムラインでも、表示されなくなると言われています。

■ファクトブックシステム※2

地域(市町村、DMO等)とメディア・マスコミとの情報マッチングを実現するため、画像、動画、取材関連情報などをデータベース化し、共有するサービス



《もうひとつの京都》

●お茶の京都

茶生産地として最も長い歴史を有し、素晴らしい景観を形成するとともに、現在も最高品質の緑茶を生産している京都府南部地域（宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・久御山町・井手町・宇治田原町・笠置町・和束町・精華町・南山城村）において、世界文化遺産登録に向けた取組を契機に、宇治茶をテーマにお茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信などを進めていきます。



●森の京都

芦生の森や美山かやぶきの里を有する京都府中部地域（亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、京都市右京区京北）において、我々の生命と文化を育んできた「森」について多面的な角度からとらえ、豊かな自然と文化に触れ、活かし、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の発信など、貴重な京都の「森」が地域を元気にする大きな力となることを目指しています。



●海の京都

京都府北部（宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町）を「海の京都」と位置付け、地域活性化と観光振興を目指して、さまざまな事業を実施。平成27年春、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上することから、平成27年度をターゲットイヤーとして、多くの観光客を呼び込み、全国有数の競争力ある観光圏となることを目指しています。



《内容に関するお問い合わせ》

京都府広報課

担当：藤井、丸山 TEL:075-414-4119 FAX:075-414-4075